

講義名	社会心理学（2年生以上）		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	池田 曜子		
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 3時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		講義コード	23068

主題と概要

本授業の目的は、人間の行動が社会的諸要因によってどのように影響されるかを学ぶことです。社会心理学では、これまで自己のパーソナリティ、社会的認知、社会的態度、対人関係、集団過程などについての研究が行われてきました。そこで、本授業では、これまでの研究成果を具体的に示しながら、社会的要因が個人の行動に与える影響と集団行動原理について学びます。

到達目標

1. 社会心理学を理解するための現象を見つめる「視点」を理解する
2. 対人関係の形成プロセスを理解する
3. 他者との相互作用が個人や集団・社会に影響するプロセスを理解する
4. 各個人が自分自身の興味・関心に関連して、学習内容を発展させる

提出課題

各授業後に、小レポートを提出してもらいます。実験を行った授業時には、実験に関するレポートを提出してもらいます。

評価の基準

授業後小レポート（15%）
 実験レポート（15%）
 期末レポート（70%）

履修にあたっての注意・助言他

適宜、実験等を取り入れるため、できるだけ欠席しないようにしてください。授業後、配布資料をもとに復習し、自己の理解程度を再確認しておくことが必要です（不明点は、次回授業時に質問してください）

教科書

.使用しない。

プリント資料及び参考文献

授業において、プリント資料を配布します。

授業計画

1. 社会心理学とは何か
2. パーソナリティ
3. 印象形成
4. 対人記憶
5. 対人認知における歪み
6. 対人認知の個人差
7. 対人魅力
8. 社会的推論（1）：帰属に関する理論
9. 社会的推論（2）：社会的推論のエラーとバイアス
10. 態度
11. 感情（1）：感情生起理論
12. 感情（2）：気分一致効果に関する理論
13. 集団と個人（1）：集団による問題解決と意思決定
14. 集団と個人（2）：社会的ジレンマ、集団間差別
15. まとめ

予習・復習

各授業で必要な資料を配付し説明を行います。この資料を次週の授業までに熟読し、理解できない部分を明確にし、分からなかった部分について質問ができるようにしておいてください。

備考